

参考：講師・プロフィール



浦野 愛 氏：レスキューストックヤード 常務理事

阪神・淡路大震災では、大学生のボランティアネットワークに所属し、被災者支援にあたる。卒業後、特別養護老人ホームデイサービスセンターで介護職として勤務し、レスキューストックヤードの設立と同時に事務局スタッフとなる。2004年より事務局長、2009年より常務理事を務める。避難所運営支援や災害時要配慮者への支援事業を中心に、災害ボランティア等、各種講演会・講座講師、支援プログラムの企画・運営を行っている。社会福祉士。



辛嶋 友香里 氏：ピースボート災害支援センター 現地コーディネーター

2011年、東日本大震災をきっかけにPBVの初期運営メンバーとして支援に携わり、職員となる。全国各地で講演やPBVが持つ各種防災・減災プログラムの研修講師としても活動中。国内災害の緊急支援も担当。直近では、コロナ禍における2020年7月豪雨（熊本）、2021年熱海市土砂災害、8月豪雨災害（佐賀）など毎年常駐型で、被災地の現地コーディネーターとして災害対応にあたっている。



頼政 良太 氏：被災地 NGO 協働センター 代表 / 関西学院大学人間福祉学部 助教

大学入学と同時に学生ボランティアサークル「神戸大学学生震災救援隊」に参加。能登半島地震被災地での足湯ボランティアを皮切りに、夜回りによるホームレス支援、フリースクールサポートといった様々な活動や、数々の国内の災害救援活動に従事。被災地 NGO 協働センターのアルバイトスタッフから正社員を経て、平成 27 年、同 NGO 代表に就任。現在は助教として、関西学院大学人間福祉学部で災害時のボランティア活動や災害復興について研究している。



山中 弓子 氏：親子支援・災害看護支援 てとめっと／看護師

NPO で親子支援・災害看護支援に従事（阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本大分地震、九州北部豪雨災害、西日本豪雨災害などにて避難所運営支援および救護、地域支援、防災公園活動など）。

減災活動：N I C U病棟防災係（前職にて）、熊本県及び大分県の地震災害による災害看護支援と仮設自治会支援、九州北部豪雨災害による災害看護支援、メディアへの被災地支援などの現状及び 課題報告の取り組み、看護学生等への災害看護講演、ぬいぐるみプロジェクト、防災ホイッスルライト啓蒙活動、トラウマを持つ子どものためのタッチケアなどの活動行う。



山根 一毅 氏：大阪YMCA 部長・ユース事業部責任者・グローバル事業グループ長

熊本県熊本市出身。熊本大学卒業後、1991年東京 YMCA 入職。以後、熊本 Y M C A、日本 Y M C A 同盟での現場を経て、国際協力・交流・語学教育、野外活動、障がい児支援、専門学校教育などの責任者を務める。2012年からは日本 Y M C A 同盟協力部門国際担当として海外被災地での支援活動の他、東日本大震災支援活動でのコーディネート活動や、熊本地震発生後から、益城総合体育館での避難所運営に参加し、被災者支援に従事。

R5リーダー／サポーター講師養成研修受講者一覧

- 佐藤 純 氏（Hand Over Japan 代表理事／集団災害医学会BHELP インストラクター）
- 北村 育美 氏（福島大学地域未来デザインセンター 客員研究員／さすけなぶるファシリテーター）
- 小山内 世喜子 氏（男女共同参画地域みらいねっと 代表理事）
- 細谷 真紀子 氏（減災Days 主宰、山形県自主防災アドバイザー、図上訓練指導員）
- 土居 正明 氏（日本赤十字社岡山県支部 組織振興課長）
- 小柳 由佳 氏（日本赤十字社長野県支部 参事）
- 甘中 繁雄 氏（NPO法人首都圏防災士連絡会 理事）
- 水野 直樹 氏（特定非営利活動法人 ソナエトコ 理事長）
- 高智穂 さくら 氏（特定非営利活動法人 ソナエトコ）

所属は※令和6年3月時点